

令和2年5月7日

小林正則小平市長殿

要望書

小平市議会公明党

1. 10万円の特別定額給付金の日も早い迅速な給付の実施

①5月下旬以降となっている郵送用申請書の、5月中旬に前倒しての発送開始

②5月下旬以降となっているオンライン申請分を、受付順に5月中旬に前倒しての給付開始

③6月中旬以降となっている郵送申請分を、受付順に5月下旬に前倒しての給付開始

2. 小・中学校の児童生徒の家庭学習の支援体制の強化

- ①全校のオンライン学習環境整備のためのアンケート調査のバックアップと取りまとめ
- ②オンライン学習のコンテンツと時間割の作成
- ③国、都と連携した、オンライン学習のための必要機材貸し出しの実施
- ④当面、渋谷オンライン・スタディのような一方向支援プログラムの併用も検討
- ⑤当面、オンライン対応ができない児童生徒への学習資料配付等の配慮
- ⑥学校からの定期的な子ども達への学習、外遊びルールなどの声かけの発信

3. 不安を払拭する相談体制の強化と正確でタイムリーな情報発信

- ①生活保護申請窓口職員、面接担当職員の増員とケースワーカーの担当人数の適正化
- ②テレワークによる面接受付を併用し、基礎資料の確認など受付業務の効率化
- ③市ホームページの各公共施設情報の同時更新と発信日時の掲載（時系列等の間違い是正）
- ④市の総合相談窓口の周知（相談窓口電話番号の NHK 文字放送への掲載依頼等含む）
- ⑤新着情報更新時のメールマガジンでの連動配信
- ⑥「国制度」「都制度」「市制度」を明記しての各種給付・貸付情報の周知
- ⑦市民へのマスク等のゴミ出しエチケットの周知

4. 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」等の活用

- ①国の地方創生臨時交付金、都の緊急対策特別交付金等を活用した市独自の支援金の創設
- ②小・中学生への一人一台の PC 配備、モバイルルーター貸出支援策等への活用
- ③前回提案の、小平商工会、J A東京むさし等と連携した地域経済活性化策への活用
- ④2 か月から 6 か月間程度、すべての市民・事業者への上下水道料金の減免制度の創設

5. その他

- ①昭和病院へのマスク、防護服等の不足物資の支援、援助募集の実施
- ②ゴミ収集時、リサイクルセンター選別時等作業員への感染予防、防疫の徹底指導